

【羊ヶ丘病院の“今”をお知らせ】



倉理事長による「創外固定器」に関する勉強会が開催されました

NEWS

2014年9月2日（火）17:30～18:30、「創外固定器のあれこれ」をテーマに、理事長 倉秀治が勉強会を開催致しました。

当初は、院内看護師・リハビリテーションスタッフを対象とし30名程の小さな勉強会を予定しておりました。

しかし、結果は、参加者が121名と大変大きな勉強会になりました。

当院と連携しております 近隣病院の看護師さん・リハビリスタッフさんも46名お越しになり、真剣に倉理事長の話に耳を傾けていらっしゃいました。

勉強会では、「創外固定器とは？」から始まり、創外固定器を使用した症例の紹介、創外固定器の欠点やその対策について等、幅広く勉強しました。余談ですが、創外固定器を使用して、倉理事長は最大で2.5cm足を伸ばすことが出来たそうです。

*注）「創外固定器」とは？…通常、骨折や変形してしまった骨を治す際に、体内に留置して使用する固定材料のこと。

「創外固定器」には、金属製のプレートやスクリューなどがある。

